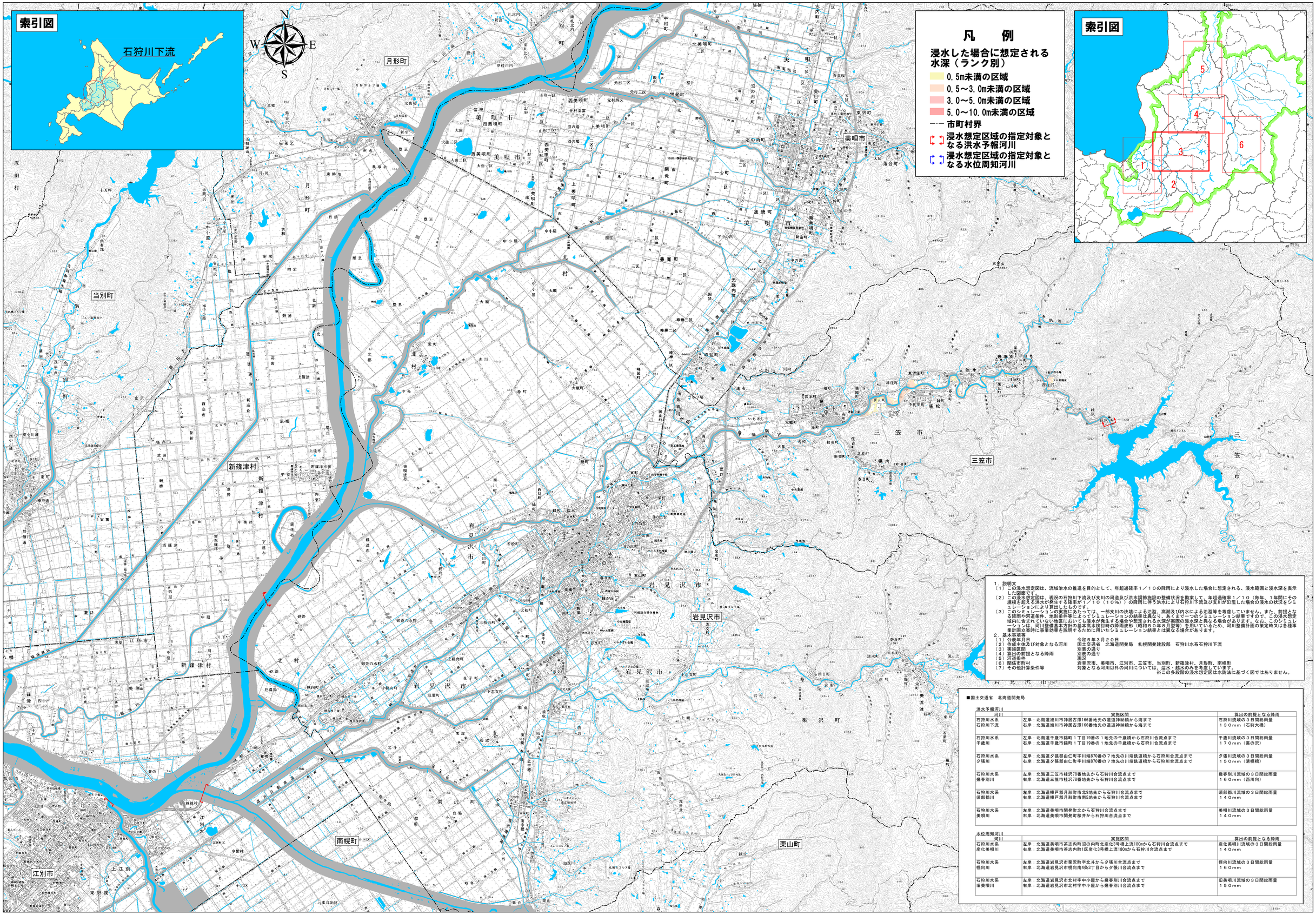
石狩川水系石狩川下流（本川・支川重ね図） 国管理河川の浸水想定図(1/10規模降雨)【現況河道】No3



1．説明文

（1）この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／１０の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

（2）この浸水想定図は、現況の石狩川下流及び支川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０（１０％））の降雨に伴う洪水により石狩川下流及び支川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（3）このシミュレーションの実施にあたっては、一部支川の決壊による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和５０年８月型等）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2．基本事項等

（1）公表年月日	令和５年３月２０日
（2）作成主体及び対象となる河川	国土交通省　北海道開発局　札幌開発建設部　石狩川水系石狩川下流
（3）実施区間	別表の通り
（4）算出の前提となる降雨	別表の通り
（5）河道条件	現況
（6）関係市町村	岩見沢市、美唄市、江別市、三笠市、当別町、新篠津村、月形町、南幌町
（7）その他計算条件等	対象となる河川以外の河川については、溢水・越水のみを考慮しています。 ※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

■国土交通省　北海道開発局

洪水予報河川

河川	実施区間	算出の前提となる降雨
石狩川水系 石狩川下流	左岸：北海道旭川市神居古潭166番地先の道道神納橋から海まで 右岸：北海道旭川市神居古潭166番地先の道道神納橋から海まで	石狩川流域の３日間総雨量 １３０mm（石狩大橋）
石狩川水系 千歳川	左岸：北海道千歳市銀町１丁目19番の１地先の千歳橋から石狩川合流点まで 右岸：北海道千歳市銀町１丁目19番の１地先の千歳橋から石狩川合流点まで	千歳川流域の３日間総雨量 １７０mm（裏の沢）
石狩川水系 夕張川	左岸：北海道夕張郡由仁町字川端870番の７地先の川端鉄道橋から石狩川合流点まで 右岸：北海道夕張郡由仁町字川端870番の７地先の川端鉄道橋から石狩川合流点まで	夕張川流域の３日間総雨量 １５０mm（清梅橋）
石狩川水系 幾春別川	左岸：北海道三笠市桂沢78番地先から石狩川合流点まで 右岸：北海道三笠市桂沢78番地先から石狩川合流点まで	幾春別川流域の３日間総雨量 １６０mm（西川向）
石狩川水系 須部都川	左岸：北海道樺戸郡月形町市北9地先から石狩川合流点まで 右岸：北海道樺戸郡月形町市南5地先から石狩川合流点まで	須部都川流域の３日間総雨量 １４０mm
石狩川水系 美唄川	左岸：北海道美唄市開発町北から石狩川合流点まで 右岸：北海道美唄市開発町桜井から石狩川合流点まで	美唄川流域の３日間総雨量 １４０mm

水位周知河川

河川	実施区間	算出の前提となる降雨
石狩川水系 産化美唄川	左岸：北海道美唄市茶志内町沼の内町北産化3号橋上流180mから石狩川合流点まで 右岸：北海道美唄市茶志内町1区産化3号橋上流180mから石狩川合流点まで	産化美唄川流域の３日間総雨量 １４０mm
石狩川水系 幌向川	左岸：北海道岩見沢市栗沢町字北斗から夕張川合流点まで 右岸：北海道岩見沢市幌向南4条3丁目から夕張川合流点まで	幌向川流域の３日間総雨量 １６０mm
石狩川水系 旧美唄川	左岸：北海道岩見沢市北村字中小屋から幾春別川合流点まで 右岸：北海道岩見沢市北村字中小屋から幾春別川合流点まで	旧美唄川流域の３日間総雨量 １５０mm

「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 3JHf 553」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」